

8月のほけんだより

平成30年 第213号

呉市役所
子育て施設課
0823-25-3144

アタマジラミに 注意しましょう。

アタマジラミは、不潔さとは関係なく流行する傾向があります。



ヒトに寄生するシラミには、ケジラミ、コロモジラミ、アタマジラミの3種類があります。子どもに多くみられるのは、アタマジラミです。

アタマジラミは、髪の毛の直接接触で感染していくことが多く、小学校・幼稚園・保育所などで、しばしば集団感染を起こします。子どもたちは、からだを寄せ合って遊ぶことが多いため、大人よりうつりやすいと考えられています。髪と髪が直接接触合ったり、寝具やタオルなどを介してうつることがあり、お昼寝やお泊まり保育などでうつることもあります。不潔なためにうつるわけではなく、誰にでもおきる可能性があるため、いじめや差別などにつながらないように正しい知識を持つことが大切です。

これがアタマジラミの
成虫と卵の写真です！



成虫

*大きさ約2~4mm
アタマジラミはかなり早く動き回るので、数が少ないときには見つけるのが困難です。



卵

*大きさ 約0.4mm
卵は、髪の毛に付いています。髪の毛から少し斜めに突き出すように、きらきらと光って見えます。
「ふけ」も同じように髪の毛にくっついていますが、髪の毛と平行で簡単にとれます。卵は毛にへばりついて、しごかないと取れません。

早期発見が大切

髪の毛に産み付けられた卵は7～10日程でかえります。でてきた幼虫はさなぎにならず、3回ほど脱皮をして1～2週間で成虫になります。成虫の寿命はおよそ1ヵ月で、1日におよそ3～4個、1ヵ月で約100個も産卵します！繁殖力が非常に強く、爆発的に数が増えていくので、早期発見が大切です。

ヒトにくっつくシラミはほかの動物にはくっつきませんし、他の動物のシラミもヒトにはくっつきません。また、ヒトから離れたシラミは血を吸えないので2～3日で死んでしまいます。ヒトから離れると運動能力は低く、羽もないので飛ぶこともできませんから、特に殺虫剤を使用する必要は無く、掃除機をかけることで対処ができます。



注意すること

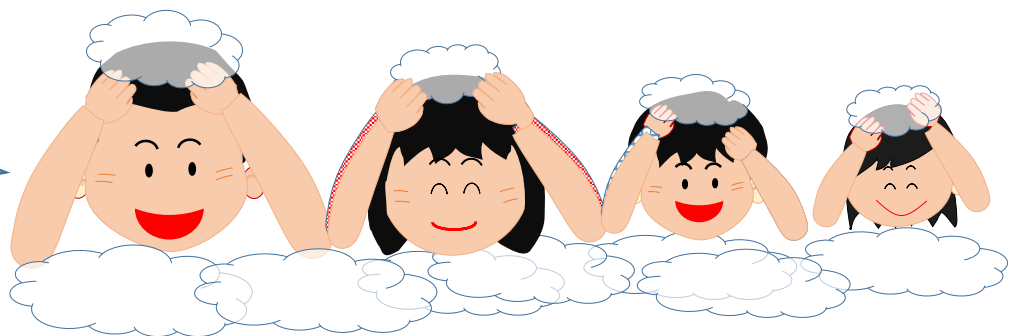
感染者を見つけた場合は、きょうだいや友達、母親（一緒に寝る子が多いためか母親も感染していることが多い）について、感染しているか否かを確認することです。しかし、タオルや枕を共有したり、同じ布団で寝たりしなければ、感染しないことについて理解しておくことも必要です。衣服や枕、布団の消毒は、普通の洗たくで十分ですが、不安な場合、60度以上のお湯に5分間以上つけることで完全に殺すことができます。

治療

感染が確認された場合は、家族全員同時に治療を行うことが必要です。

治療は、殺虫剤による駆除を原則とします。治療薬（スミスリンローション）は、一般市販薬なので薬局で買うことができます。普通のシャンプーと同じように使用し、5分間放置、その後十分に洗い流します。洗浄後に普通のシャンプー・リンスを使用することもできます。スミスリンは成虫によく効きますが、卵には無効です。そのため、これを3日に1度、3～4回繰り返します。薬の使用法が正しく、他の感染部位を見落とさなければ簡単に治癒します。

みんなそろって
スミスリンで治療
しましょう！



ほけんだよりは、くれ子育てねっとの子育て支援サービスでもご覧になることができます。

URL <http://www.kure-kosodate.com/>